

令和5年3月2日

第3回学校運営協議会

1 実施日 令和5年2月24日(金) 15:00~16:30

2 出席者

(1) 協議会委員(五十音順)

柏原 泰和 (川西地区青少年健全育成協議会会長)

楠 正吉 (三島高等学校同窓会長)

中村 利久子 (高槻市立郡家小学校校長)

林 武文 (関西大学教授)

山本 富美恵 (三島高等学校PTA会長)

吉川 洋子 (高槻市立第二中学校校長)

(2) 学校側

山下克弘校長、山崎一郎教頭、一馬愛首席、前田隆志首席、廣澤洋二教諭、古謝伸二事務長

3 議題

(0) 1月24日開催の音楽祭の映像を鑑賞した後、以下の議題についての審議を行った。

(1) 学校教育自己診断結果について

(2) 令和4年度学校経営計画評価及び令和5年度学校経営計画について

4 委員からの指摘提言

(0) 音楽祭について

- ・発声がプロのようだった。
- ・よく練習されて本番に臨まれている。

(1) 学校教育自己診断結果について

- ・コロナの影響で、オンラインから対面に戻ったことのメリット・デメリットがあるようだ。
- ・先生方の話し合いが増えているのは良いこと。学校を楽しんでいる様子も良い。保護者の方にもみていただけるようにHPには見てもらえるような工夫が必要だし、中学生も見ているという意識は持つ必要がある。
- ・授業改善等について日常的に話し合っているところが良い。相談できる項目については生徒と教員で差がある。読書離れが気になるが、コロナ明けで行事など楽しくなっているのか図書館利用が減っているのだろう。
- ・先生方は努力されていると思うので、その努力を伝えるようにすればいいのではないか。
- ・生徒・保護者に理解をしてもらうことが大切だが、高校生ぐらいになると、親子で学校生活についてあまり話さないようなので、家族での対話を促進させるような工夫も必要。
- ・中学校でもこのような学校診断アンケートをしているが、「学校へ行くのが楽しい」「友人がいる」の割合が高い。これだけ高いのは学校に魅力があるせいだと思う。授業も肯定的に捉えている。中学校

でも先生に相談するようにと伝えてはいるが、相談する相手は、先生から友人や先輩に変わってきているように思う。ホームページは中学生に向けて発信してほしい。学校説明会が開かれていない時期はHPをととてもよく見ていた。これからも見るだろう。学校選びも変わってきている。3年間楽しめるか、自分がそこで頑張っていけるかを考えてHPを見ているので、中学生と中学生の保護者を意識して作成してもらいたい。

- ・HPについては、校長だよりが丁寧でわかりやすく、よく見ている。もっと見ていただきたい。高校生にもなると親と話す時間がなくなる。学校の様子がきっかけで親子の会話が始まることもある。なかなか浸透していないのはもどかしい。
- ・コロナで来校する機会がないと、どの先生に相談していいのかわからないところもある。わかりやすいアナウンスがあれば、もっと差が縮まるように思う。学校が期待に答えているかというところは、先生には悩み事を相談したりしたが、熱心に相談に乗ってくださったと感謝している。
- ・全体に満足度が高いようで、増減についてはその理由が分かったが、違う視点で言うと、孤立している生徒はいないのだろうか。数字としては大きくないが親しい友人がいないと答えた生徒が気になる。高校時代は先生に相談するより友人に相談したので、それよりは、いざというときに相談できる相手がいるのか、それは社会の課題でもあるので心配している。どう取り組んでいくのか。
- ・学生の活字離れが言われている。教員から「おすすめの100冊」など読書促進もしている。先生方の影響力も大きいので、読書の楽しさ伝える努力も有効だろう。

(2) 令和4年度学校経営計画評価及び令和5年度学校経営計画について

- ・ここ数年で、徐々に良くなってきているのは良いこと。英検の人数は、文科省による外部試験の導入の影響もあるのか。英検以外でも英語力向上が目指せればよいだろう。留学生の受け入れなど、環境作りに力を入れるのが良いと思う。
- ・遅刻しても走ってこないマイペースな子が増えた。支援が必要な子どもの数も含めて、遅刻は増えているように思う。
- ・同じ校区だが、中学生は自由な校風にあこがれる気持ちが強い。いろんなことを頑張りたい、チャレンジしたいと考えて選ぶ生徒が多い。主体的に動ける生徒を育てていただきたいし、中学校でも頑張っていきたい。
- ・英検については、英検よりTOEICという変化もあるようだ。遅刻については、学年を上がるごとに気が緩んでいるようだ。保護者としても気をつけてみていきたい。
- ・共通テストの受験者は増えているが、どこを目標にするのが難しい。これまで新任教員へのフォローが自分たちでできていたのはすばらしいが、これからはどうしていくのか。ベテラン教員の負担にはならないか。遅刻については生徒同士の登校サポートなど工夫はされているのか。若者のマナーが悪いというのが社会でも問題になっているので、期待しているところだ。

※令和5年度学校経営計画については、全員一致で承認された。